

諸道中袖鏡

| 東海道 | 中山道 |
|-------------|------------|
| 加列合沢乃 五十 | 戒弟福井乃 五十 |
| 越中富山乃 五十 | 富山合沢乃 五十 |
| 文分中仙乃 五十一 | 仙臺乃 五十一 |
| 小松大聖寺乃 五十二 | 大津分大坂乃 五十二 |
| 紀伊若山乃 五十三 | 吉野山乃 五十三 |
| 米沢乃 五十三 | 三野乃 五十四 |
| 吉野乃 五十四 | 奈良分大坂乃 五十四 |
| いせ南々世田乃 五十四 | 南勢益呂乃 五十四 |
| 河分伊賀乃 五十五 | 長湯入船乃 五十五 |
| 大坂分長湯乃 五十五 | 三上乃 五十七 |
| 岩倉小倉船岡乃 五十八 | 甲列乃 五十九 |
| 富士未備乃 六十一 | 身延乃 六十三 |
| 甲府分文乃 六十三 | 日光乃 六十三 |
| 水戸乃 六十四 | |

東海道 中山道 道中記

上下だん町
めいふまうの
并はらばら

御定荷物貫目

- 一 三拾六貫目まで
- 一 一貫目六拾八貫目まで
- 一 二貫目六拾六貫目まで
- 一 三貫目六拾四貫目まで
- 一 四貫目六拾二貫目まで
- 一 五貫目六拾貫目まで
- 一 六貫目六拾八貫目まで
- 一 七貫目六拾六貫目まで
- 一 八貫目六拾四貫目まで
- 一 九貫目六拾二貫目まで
- 一 十貫目六拾貫目まで

東海道

日本橋 二里

本筋百七十五
加へ尻七十二

中山道

日本橋 二里

本筋百十二
加へ尻七十二



○右の芳神の宮あり
 飯食神の宇久草年
 國の租税と云神文
 有り小高島の稅事と
 わりあつる如也飯
 らと中とありまふ多
 くあきわたりたる文
 場と云は後小松院の所
 字商賣上人の所巻し
 七八入林の物なりと
 云く大寺也○かた板橋
 うさ川をより天町字
 志をばし合松と云
 田町○元札は辻松和也田
 町の田丁目あり是も
 日本橋より一里○右の方
 八幡堂ありと云るあべの
 つかちありと云る○
 田町○五町ありし町と云
 是が所を庄町と云は海

板橋のなる坂と云
 右小神田の作の坂あり
 左小神田の作の坂あり
 中六町目ありと云る
 右早もたふり橋あり
 寺ありと云る寺と云ふ
 中六町あり○赤川宿○
 近もたふり橋あり
 王子岩瀨名目あり
 ○竹町七八町ありと云
 坂あり坂中右小白山橋
 坂の末あり○右の芳八
 中もたふり橋ありと云る
 在まふり○竹町あり
 小松くかち町○すかち町
 左小松くかち町あり
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 ○すかち町出て板橋を
 左もたふり橋ありと云

中もたふり橋ありと云
 て見ゆしと云所あり
 ○右小神田の作の坂あり
 字の坂と云る坂あり
 濱町内道にありと云る
 十六人のと云る○
 寺也小松くかち町あり
 六町の如來堂ありと云
 ありと云る○
 寺ありと云る寺あり
 中もたふり橋ありと云
 る○
 中もたふり橋ありと云
 る○
 中もたふり橋ありと云
 る○
 中もたふり橋ありと云
 る○

中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云

日板橋 二里十町

中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云

中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云
 中もたふり橋ありと云

と云ふは物田はまき
漫一かふありは美
と物田大の神といふは
社あり又十人の祭屋一か
あこびー死骸といふは
うつめく十務大の神
とわびひこませ村あや
りむ物田の社より経
近く玉川のちまこ

お川崎か 二里半
日くあ川へ

本百廿六文 同屋
かろ八十八文 七丁
人六十七文 飯倉

下百廿六文く八十八文
○宿の入口が九の方一里
社あり大陣海東と云
ふ小法法師自他の
えいむ八町ありそあ
が松あり本めを橋

と云ふ一のめ。市を
茶やあり。小やを入口
小なりくの十二文く
は沖波一社ありかん
風日わふ。新着。
つは川。うの村あり
あやうの傳がつあり
中より本考の教者
もあり

あうあ川か 一里五丁
日くあ川へ

本五十九文 同屋
かろ三十八文 利倉
人三十三文 飯倉

中り本百廿六文く八十八文
○宿と出うの道を流さ
日とわふ。社ありの
現社あり。宿の内橋あり
ま。より。かろとあふ
本と云ふ。ありま

富士山あり。右の方
表のあり。とわふ
ケ東とよび色足立
社。右の方。小武蔵
一の久松川。社あり
あり。右のきこに石のこ
りぬ。是より社の
す。右太松のあり。本
十八町。社あり。あり
住居。社あり。二百文
町のひびくあり

お大文か 二里八丁
日わげを

本百十七文 同屋
かろ七十七文 新倉

○七手町村はあり
とくちくふあり
○小原村。大表村
より又あり。東の内十
四丁あり。丸田村の

く。月村。かむ村
日かりの社あり
あり。左小川。えんあり

お上尾か 一里
日桶川へ

本五十四文 同屋
かろ三十三文 小倉

○右の方に表。社あり
社あり。二里半。是日
う。あり。左小川。の社
あり。本村。あり。村
あり。右に。村あり
ら。い。人の。あり。町
村。いと。本村

お桶川か 一里北町
日桶川の

本百十七文 同屋
かろ六十七文 保三
○宿の内橋を寺と云

○たふらうの村に格
 現の天つり。花あり
 ともあいの橋を中三
 取。りりじが糸めぬ
 ○けりあひむ。寝て
 さうある時。西を若
 ぶ。北女まうし。と
 そ。の。社。あ。う。う。あ。ひ。ん
 こ。し。も。そ。の。肉。あ。う。古。ん
 お。若。者。や。り。の。後。わ。り
 此。不。子。虎。う。本。傍。も。も
 け。う。う。金。こ。り。た。も。も
 先。う。う。そ。え。里。の。山。下
 宿。あ。れ。も。ち。り。り。○
 此。辺。皆。細。も。か。り。り
 う。手。あ。う。く。山。の。如。し

小。平。六。が。が。あ。り
 う。急。本。村。を。う。上。州
 の。赤。城。い。え。田。の。け。う。え
 人。信。村。を。折。村。を。若。さ
 は。不。愁。と。し。源。を。れ。れ
 逢。あ。る。折。越。村。を。う。村
 ち。小。中。の。乃。あ。う。と。れ。六
 折。越。川。の。後。う。は。う。く
 本。上。州。の。う。の。た。え。○。本
 五。所。さ。と。と。あ。り。茶
 け。う。

○宿のね村。う。や。を。村
 ○是。於。村。宿。の。内。廿。丁
 金。く。馬。の。六。球。を。忠
 此。う。出。不。こ。右。の。亦。に。右
 せ。ん。は。は。い。と。善。海。寺

く。百。七。文。同。左
 人。百。七。文。志。左。の
 下。午。八。十。文。う。三。十。文

と。云。保。ち。あ。り。宿。の。介
 太。春。の。う。ら。子。本。表。の
 中。裏。あ。ら。○。八。九。丁。の。て
 ○。是。の。つ。世。あ。う。折。田
 四。里。世。良。田。二。里。ま。う
 後。を。た。か。ち。ら。う。あ。り
 小。山。川。た。水。相。じ。く
 う。ち。渡。り。の。増。あ。ふ。後。り
 だ。じ。○。畑。田。村。牧。西。村
 左。に。八。十。文。う。え。○。傍。不
 貴。村。は。和。武。公。上。州
 の。こ。う。の。者。は。さ。う。不。貴
 と。そ。し。り。ゆ。あ。ま。り。じ
 貴。と。若。村。と。云。地。の
 う。き。う。と。と。あ。り。と。云。地。の
 ト。と。云。あ。り。○。た。の。方。小
 乃。あ。り。見。よ。り。鹿。橋。六。里
 六。里。近。園。西。二。里。八。料
 よ。う。八。里。手。を。船。出。る。く
 け。う。た。沼。田。こ。も。保。保

○時。色。深。深。の
 如。あ。き。家。す。も。わ。れ。れ
 あ。う。建。り。う。表。の。の。伏。の
 秋。の。夕。れ。本。海。乃。三。市
 之。而。と。云。表。の。道。代
 能。橋。降。之。子。即。書。を。速
 文。見。上。之。純。化。の。西。の
 像。は。安。重。氏。う。う。石
 橋。と。云。中。興。東。姓
 居。士

と。云。保。ち。あ。り。宿。の。介
 太。春。の。う。ら。子。本。表。の
 中。裏。あ。ら。○。八。九。丁。の。て
 ○。是。の。つ。世。あ。う。折。田
 四。里。世。良。田。二。里。ま。う
 後。を。た。か。ち。ら。う。あ。り
 小。山。川。た。水。相。じ。く
 う。ち。渡。り。の。増。あ。ふ。後。り
 だ。じ。○。畑。田。村。牧。西。村
 左。に。八。十。文。う。え。○。傍。不
 貴。村。は。和。武。公。上。州
 の。こ。う。の。者。は。さ。う。不。貴
 と。そ。し。り。ゆ。あ。ま。り。じ
 貴。と。若。村。と。云。地。の
 う。き。う。と。と。あ。り。と。云。地。の
 ト。と。云。あ。り。○。た。の。方。小
 乃。あ。り。見。よ。り。鹿。橋。六。里
 六。里。近。園。西。二。里。八。料
 よ。う。八。里。手。を。船。出。る。く
 け。う。た。沼。田。こ。も。保。保

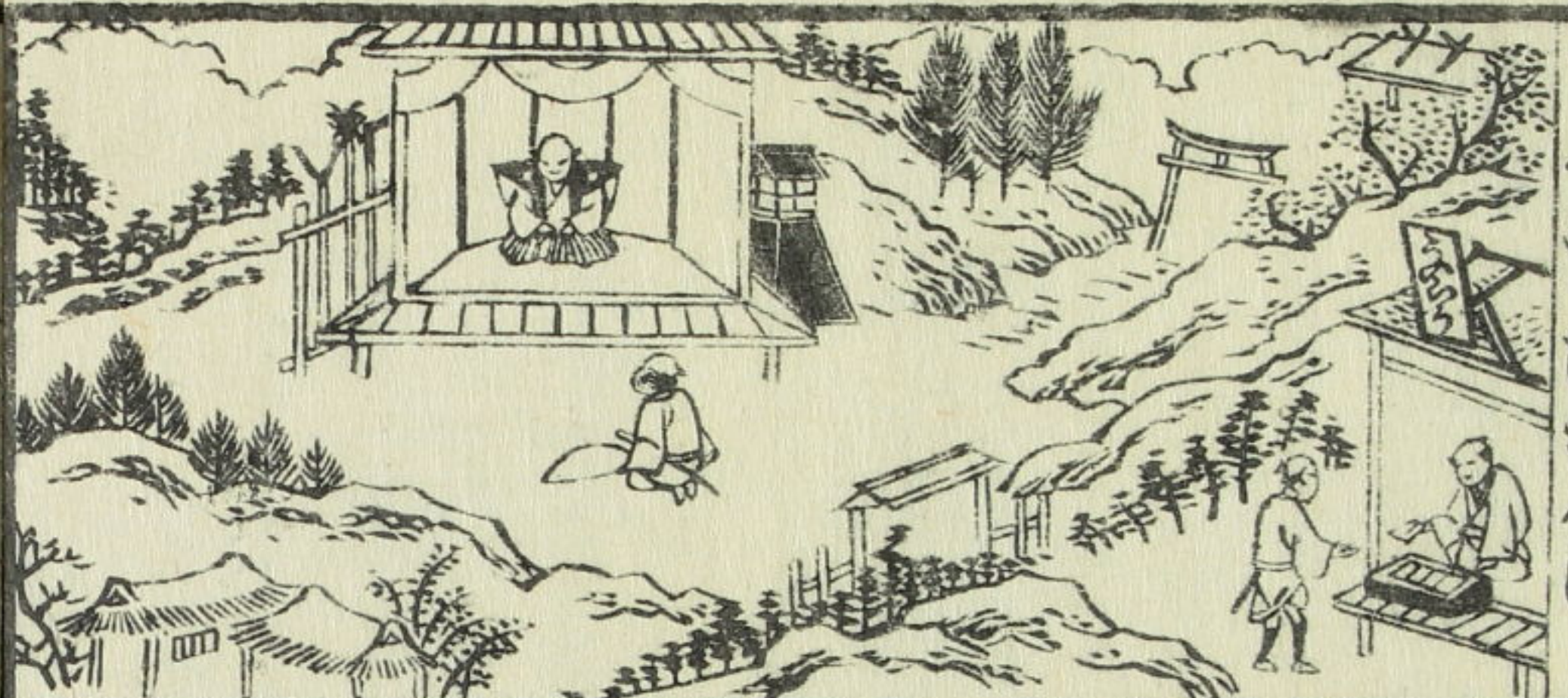
○たふらうの村に格
 現の天つり。花あり
 ともあいの橋を中三
 取。りりじが糸めぬ
 ○けりあひむ。寝て
 さうある時。西を若
 ぶ。北女まうし。と
 そ。の。社。あ。う。う。あ。ひ。ん
 こ。し。も。そ。の。肉。あ。う。古。ん
 お。若。者。や。り。の。後。わ。り
 此。不。子。虎。う。本。傍。も。も
 け。う。う。金。こ。り。た。も。も
 先。う。う。そ。え。里。の。山。下
 宿。あ。れ。も。ち。り。り。○
 此。辺。皆。細。も。か。り。り
 う。手。あ。う。く。山。の。如。し

と。云。保。ち。あ。り。宿。の。介
 太。春。の。う。ら。子。本。表。の
 中。裏。あ。ら。○。八。九。丁。の。て
 ○。是。の。つ。世。あ。う。折。田
 四。里。世。良。田。二。里。ま。う
 後。を。た。か。ち。ら。う。あ。り
 小。山。川。た。水。相。じ。く
 う。ち。渡。り。の。増。あ。ふ。後。り
 だ。じ。○。畑。田。村。牧。西。村
 左。に。八。十。文。う。え。○。傍。不
 貴。村。は。和。武。公。上。州
 の。こ。う。の。者。は。さ。う。不。貴
 と。そ。し。り。ゆ。あ。ま。り。じ
 貴。と。若。村。と。云。地。の
 う。き。う。と。と。あ。り。と。云。地。の
 ト。と。云。あ。り。○。た。の。方。小
 乃。あ。り。見。よ。り。鹿。橋。六。里
 六。里。近。園。西。二。里。八。料
 よ。う。八。里。手。を。船。出。る。く
 け。う。た。沼。田。こ。も。保。保

○たふらうの村に格
 現の天つり。花あり
 ともあいの橋を中三
 取。りりじが糸めぬ
 ○けりあひむ。寝て
 さうある時。西を若
 ぶ。北女まうし。と
 そ。の。社。あ。う。う。あ。ひ。ん
 こ。し。も。そ。の。肉。あ。う。古。ん
 お。若。者。や。り。の。後。わ。り
 此。不。子。虎。う。本。傍。も。も
 け。う。う。金。こ。り。た。も。も
 先。う。う。そ。え。里。の。山。下
 宿。あ。れ。も。ち。り。り。○
 此。辺。皆。細。も。か。り。り
 う。手。あ。う。く。山。の。如。し

と。云。保。ち。あ。り。宿。の。介
 太。春。の。う。ら。子。本。表。の
 中。裏。あ。ら。○。八。九。丁。の。て
 ○。是。の。つ。世。あ。う。折。田
 四。里。世。良。田。二。里。ま。う
 後。を。た。か。ち。ら。う。あ。り
 小。山。川。た。水。相。じ。く
 う。ち。渡。り。の。増。あ。ふ。後。り
 だ。じ。○。畑。田。村。牧。西。村
 左。に。八。十。文。う。え。○。傍。不
 貴。村。は。和。武。公。上。州
 の。こ。う。の。者。は。さ。う。不。貴
 と。そ。し。り。ゆ。あ。ま。り。じ
 貴。と。若。村。と。云。地。の
 う。き。う。と。と。あ。り。と。云。地。の
 ト。と。云。あ。り。○。た。の。方。小
 乃。あ。り。見。よ。り。鹿。橋。六。里
 六。里。近。園。西。二。里。八。料
 よ。う。八。里。手。を。船。出。る。く
 け。う。た。沼。田。こ。も。保。保

のやどりりね
宗祇の紀州の人なり
古今の秘と木の成り
も傳授し道達院に
つゝまの暖水屋院に



宗祇よりむかひあり
○大北地蔵寺あり○吾
我寺あり○大前が所
松名を死する夫のね衣
あざと云ふ世をあり
○すゝも沢○恵ひれ死
○ころろ坂○たのすの
城あり○まこの葉や
下流常や之を傳もる
○さう木坂○かの木坂
○さうすり坂○てりれ
は坂道あり○白あ坂
○八町坂○たふ芦の湯
たふたふ湖のまゝに○
右の方にもろの権現
のたふり権現もある
け社に宝字中は同じ上
人のうきさし初めは松樹
山金剛五院東福寺と

うろ六十五 平たう
○左の方ありき山
ゆるはあより二里ゆ
りあの方ぬけの元と
ていふもあつてより
一の文も二里。

お松井田。二里
日坂村。二里

本百五十文 同巻
うろ百五十文 動去借

坂東の松井田の松樹
ゆりあよりきさしの方の
方あり。横川は雲
所を唯水の石雲をた
云雲中。動去借あり
わゝゝわゝゝの河関
あり。

五坂村。二里半
日かしの坂。十六丁
本二百五十文 同巻
うろ百五十文

○江戸より長と云ふ
け者出はよりうき。確
氷を伴之坂よりあり
上りて松をんを云ふ
ん和をまろの坂あり
と云ふもけ坂のおとく
ありあり。味子茶や
あり。伴の内町ありや
く。町と云ふ松井田
権現の社あり。世不伝
員上坂の境あり
あかの坂。一里六町
本六十文 同巻
うろ百五十文 市古集
○登より松井田あり
○もあれは雲をたれ井
あぞ云あり。新田村
たふたふの山あり

いふ者我の糸時致
紙の時にいふ者

室物
一友切丸を道長三尺
守を鑑らうらう

かゝる
一清子のちり赤羽化
時致是すは徳徳成

一書人のちり書こ
尺を徳徳打ちもひら

一もの切ありまん切
の時打合しちり赤

本の子すかこさう
てぬけは是は徳徳

このりおの時に書
やじとこをれを徳

ねがらめとさう
一萩光の玉ニツ
一物の角ニツ書こ寸

一とこのコ一半玉一ツ
六寸のみ一麻の玉ニツ

一より羽染人の振
長こ寸と寸幅一寸と寸

一かゝるの級あり
一大陣の時に終ッ

一時字自家の友
安松悦子方要曲下

一況をいふ茶時
一況をいふ茶時

一我が前時致あり
いふ。時致の社あり

ある。より羽染の
まどをたのきにある

○徳沢村。當りけ入は
坂あり

○あつり
日返り。一里寸

本六十一文 同屋
うらに十五

○はあより糸津屋
村あり。○わさ由い乃

ありとゆきより糸
たふわけを糸。○その

人のうけさかき
わり。○大掛のたふ

○あつり
日返り。一里寸

本七十一文 同屋
うらに十五

○はあより糸津屋
村あり。○わさ由い乃

ありとゆきより糸
たふわけを糸。○その

人のうけさかき
わり。○大掛のたふ

○あつり
日返り。一里寸

本六十一文 同屋
うらに十五

○古本たうじまあふ
 天町のりも、園石小田
 系の城を新當の女
 人と成る、八上徳文を
 ては、越さば、控り、せさ
 る者、主人の、も、ごめ
 う、ひ、西の、友、友、の、形
 持、系、と、を、る、三、つ、や
 ○新、や、ま、も、ひ、入、り、の、ひ
 色、む、う、ひ、あ、の、味、と
 の、か

おとこ、縁、か、二、里
 日、三、徳、と、廿、八、十

本七百二十文 同左
 う、三、百、五、十、文
 人、な、り

○は、不、秀、ふ、れ、む、あ、の、城
 堀、本、一、町、す、ふ、ん、さ
 か、ま、す、ふ、八、倍、夏、ま、く

○あ、や、く、一、町、ひ、ふ
 坂、赤、石、坂、う、ご、石、坂
 ○風、こ、一、こ、う、の、本、伊
 夏、相、控、の、境、こ、も、ら
 う、平、あ、う、の、城、わ、と
 と、も、る、胃、石、坂、胃、石
 と、も、る、あ、の、石、坂、大
 う、れ、本、山、中、茶、や、り
 野、子、一、ま、ま、一、下、石、の
 方、に、城、わ、と、中、比、合
 我、あ、そ、一、柳、夏、州、あ
 死、あ、あ、和、あ、う、石、塔
 あり、石、坂、大、あ、あ、れ
 さ、ま、茶、や、あ、う、石、坂
 ○三、の、茶、あ、あ、出、法
 花、あ、あ、石、坂、七、角、あ
 の、山、茶、あ、あ、茶、茶
 や、あ、あ、あ、ね、う、茶、今
 井、坂、あ、あ、の、社、あ、り
 野、あ、あ、町、三、徳、合、石、橋、あ

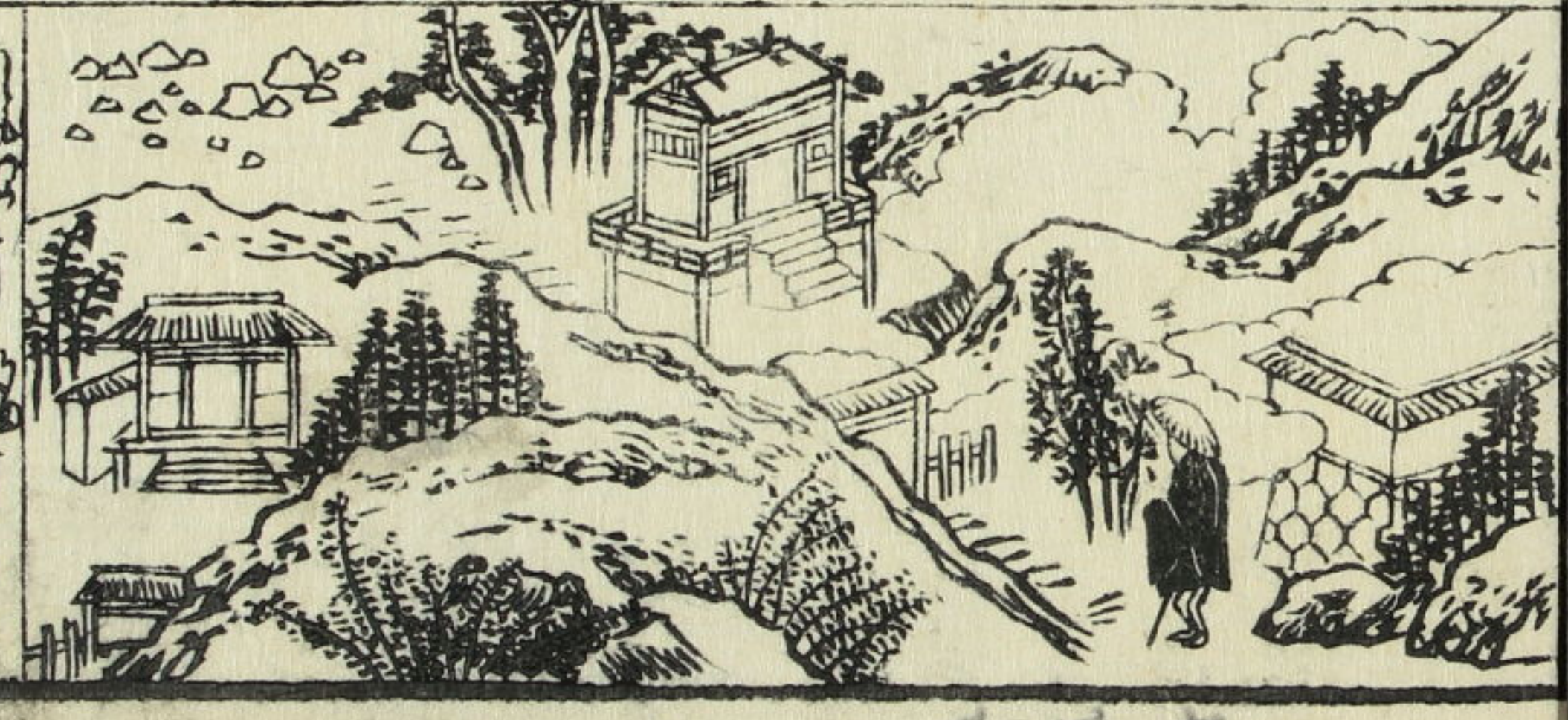
○道、子、け、の、後、を、回
 二、千、五、里、加、良、金、流、く
 八、十、一、里、平、岩、村、増
 系、村、熱、と、け、い、色、八
 山、あ、わ、り

おとこ、あ、か、一、里、七、町
 日、岩、村、田、一、里、七、町

本六十八文 同左
 う、四、十、五、文
 ○本、の、方、に、城、後、な、り
 ○う、あ、の、石、坂、石、坂、石、坂
 田、林、坂、あ、あ、ひ、あ、の
 有、小、法、林、の

おとこ、岩、村、田、一、里、十、町
 日、岩、村、田、一、里、十、町

本七十五文 同左
 う、四、十、九、文
 ○小、法、林、の、宿、中、に、流
 る、石、坂、う、う、石、坂、を
 さ、び、ま、ま、く、平、岩、村



○平、岩、村、岩、村、の、日
 七、町
 日、岩、村、の、日、七、町
 本、四、十、四、文
 平、岩、村

お糸の 三里六町

本二百五文 同左
戸名
人百二文 持たら

下り六百六文
大正...

あり。う紀清が糸は
今六里むらさき

あり。うち糸はけすは
のちと佐く本糸

しをいさぐとり西
。助去清新田。柏糸

いふ。うち糸とやき
。松村。大野

田。元より糸。川井
の橋廿九る。おトの

す。その糸より糸の
糸

糸人の
。士の糸糸あや

。糸糸糸糸糸糸糸糸

。糸糸糸糸糸糸糸糸

。糸糸糸糸糸糸糸糸

。糸糸糸糸糸糸糸糸

。糸糸糸糸糸糸糸糸

。糸糸糸糸糸糸糸糸

。糸糸糸糸糸糸糸糸

お和の 六里九丁

本四百五文 同左
戸名
人百二文 持たら

下り六百六文
大正...

あり。う紀清が糸は
今六里むらさき

あり。うち糸はけすは
のちと佐く本糸

しをいさぐとり西
。助去清新田。柏糸

いふ。うち糸とやき
。松村。大野

田。元より糸。川井
の橋廿九る。おトの

す。その糸より糸の
糸

糸人の
。士の糸糸あや

。糸糸糸糸糸糸糸糸

。糸糸糸糸糸糸糸糸

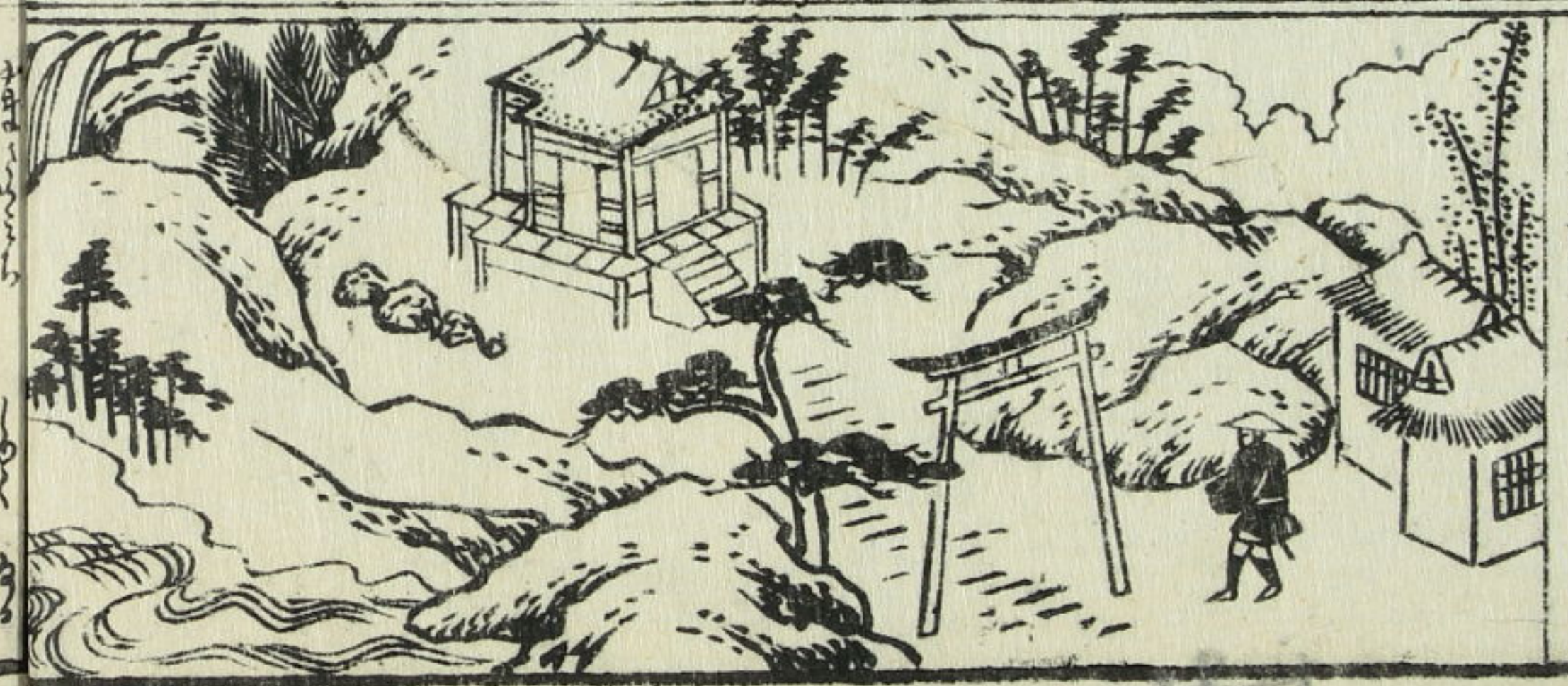
。糸糸糸糸糸糸糸糸

。糸糸糸糸糸糸糸糸

。糸糸糸糸糸糸糸糸

。糸糸糸糸糸糸糸糸

。糸糸糸糸糸糸糸糸



あるは玉の社なり
 河内とそむしの社なり
 平城天皇大田元孝
 のこゝろに延光の社なり
 此の社河内とそむし
 の社なり河内とそむし
 人衆人の社なり
 ○河内の白河の社なり
 ○河内の白河の社なり
 ○河内の白河の社なり

赤坂の社 二重
 河内 九内
 人百廿又 伊去坊

河内 九内
 人百廿又 伊去坊

河内 九内
 人百廿又 伊去坊

河内 九内
 人百廿又 伊去坊
 河内 九内
 人百廿又 伊去坊
 河内 九内
 人百廿又 伊去坊

清補

河内 九内
 人百廿又 伊去坊
 河内 九内
 人百廿又 伊去坊
 河内 九内
 人百廿又 伊去坊

河内 九内
 人百廿又 伊去坊
 河内 九内
 人百廿又 伊去坊
 河内 九内
 人百廿又 伊去坊

へいやのいんげんがく
まきののこをばら田子
の浦と云風系と云
まて古徳多一。ゆね
ゆうち屋一

村人

田子の浦ふち屋て
まをむ白城の平れ
まね小舎はふり
町屋系村。小田村
尾。く。浜家や蛇
まてくう。まてく山
ちまて。まて。まて

く。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて

おまき
一里二町

本七十一文 同
く。まて。まて。まて
人 三十五文

下。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて

東中

村。まて。まて。まて

おまき
一里一町

本百十文 同
く。まて。まて。まて

まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて

おまき
一里一丁

本百十文 同
く。まて。まて。まて

まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて

まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて
まて。まて。まて。まて

東中

あり。にあり。深き。と
お門。よこす。う。い。え
ら。川。う。ち。後。り。す。き
情。あ。い。を。あ。り。わ。さ。り
あ。こ。う。の。り。を。さ。り

お江尻。二里半
日府中。二里半
本百八十五。同左
う。百。七。文。代。左。馬。門
人。八。十。七。文

下。八。半。七。十。一。文。う。二。八。八。文
○。ち。こ。橋。七。九。里。半
深。澤。舟。も。ゆ。く。
い。り。や。の。六。町。ゆ。て。あ。り
の。町。も。あ。い。富。き。あ。り
あ。り。の。池。も。あ。り
舟。も。ゆ。く。と。橋。も。海。上
一。里。と。い。ふ。も。廿。町。半。の
○。と。わ。の。松。木。と。一。里
と。下。と。と。廿。丁。と。あ。り

かくい。で。あ。り。比。び。き。お
社。い。や。の。明。神。も。あ。り
半。次。天。主。の。社。も。あ。り
の。内。も。も。松。の。下
茅。竹。と。り。り。松。木。と。り
肉。徒。蒸。も。あ。り。古。く
舟。も。ゆ。く。あ。い。富。き。あ。り
社。の。舟。も。ゆ。く。太。本。の。り
天。人。の。り。と。明。神。と。り
一。里。と。い。ふ。も。廿。町。半。の
社。の。社。が。百。六。石。の。り
の。浦。も。ゆ。く。い。り。の。浦
い。り。の。名。も。ゆ。く。の。り
の。り。の。り。の。り。の。り
浦。の。舟。も。ゆ。く。と。り
く。富。き。の。り。の。り
か。き。の。り。の。り。の。り
社。も。ゆ。く。の。り。の。り
○。久。松。の。り。の。り
二。里。と。い。ふ。の。り

う。七。十。文。六。里
○。富。き。の。り。の。り
そ。の。り。の。り。の。り
富。き。の。り。の。り。の。り
か。き。の。り。の。り。の。り
さ。り。の。り。の。り。の。り
で。き。の。り。の。り。の。り
興。の。り。の。り。の。り
興。の。り。の。り。の。り
あ。い。の。り。の。り。の。り
は。富。き。の。り。の。り
あり。の。り。の。り。の。り
川。大。橋。の。り。の。り
い。り。の。り。の。り。の。り
を。あ。り。の。り

お。天。の。橋。一。里。半
日。ふ。く。橋。一。里。半
本。八。十。九。文。同。左
う。七。十。六。文。想。左。馬。門
○。を。あ。り。の。り。の。り

の。り。の。り。の。り
竹。も。ゆ。く。富。き。の。り
た。と。十。町。半。の。り
い。り。の。り。の。り。の。り
方。も。ゆ。く。の。り。の。り
興。の。り。の。り。の。り
の。り。の。り。の。り
り。の。り。の。り。の。り
其。中。の。り。の。り。の。り
村。の。り。の。り。の。り
桑。本。村。の。り。の。り
狗。も。ゆ。く。の。り。の。り
川。の。り。の。り。の。り
あ。い。の。り。の。り。の。り
あ。い。の。り。の。り。の。り
山。村。の。り。の。り。の。り
か。人。の。り。の。り。の。り
さ。り。の。り。の。り。の。り
中。の。り。の。り。の。り
つ。き。の。り

東
三十一

此の予名は高の徳高
院と云坊中八新と云く

坂八町府中一里
○市内町は虎の山と云

わく。此は已に徳系とも
云志の畑中にうもる池

と云る。平川北子。
岩系志の芳大内の親

者も。つぎは徳系と
と云ありけり。父子自

害せし本云徳のり
○一里山村。谷の徳系

藤より五十町年なり
とあり。の徳神五補本

の洞の中八巻の徳の本
あり社名なり。小田村。

吉田米やあり。あり
徳と云ぬ。つじの徳を

○徳系。長沼。やり。
徳が徳。府中入は子。

あり。と云。こ松。徳水
○たか八幡大社。文徳

く。たか。稲川。まう
か。

あり。府中。一里十町
はまう。こ。

本百七文 同左
く。八十文 さま清

人六十三文
ち。本百十文。百七文

○新誠。たか。徳。清。徳
社。市。城。の。あり。延。徳

年中。富士。たか。あり
あり。新。徳。と。云。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり。あり
あり。あり。あり。あり。あり

城もあり水の多あり
うらやめ川城のちんせ
ん宮々人々を人舟九
十又ひふれに船を
川とある 所用の
河状敷と後一川
わく

くど
日坂 一里 廿四

本二百廿五文 同左
うら 百早五文 ちんき
人 百十文 二本あり

○赤坂と松山坂あり
坂とすてすて東城
供り天正三年ころひ
るし本今今牧の末と
云○菊川坂上下十六町
比本わめと橋と名物と
天の撥らあり義久

礼の時中初を定めては
取ると遷せられしき
昔南陽縣菊水
汲下流而延齡
今東海道菊川
宿西岸而終命

とかれもはあまう
○小橋あり川上の谷間
小菊のそとあまうし所
ありしんかぐりあふ
えのこのの中心より坂
十六丁とそとあまう
とそとあまうありあ坂
中てりり坂ありむじ
ちんきふら女けあま
盗補不切らあこれあ
陳月ありしあ子後れ門
とそとあまうと取の若
ちんきふら女けあま
ちんきふら女けあま
ちんきふら女けあま

本六十文 同左
うら 百十文 ちんき
○あまうのむら
坂坂越るは
坂の中のと村は
れんとの松より坂
○十名村十名村信濃
英法のまうひあま
蟹坂とも云○十名橋か
あまうを云々の谷
より流れゆる川は橋乃
たふ敷あり。茂れ
より先まて本昔川の
とそとあまうと取の若
ちんきふら女けあま
ちんきふら女けあま
ちんきふら女けあま

み
中津川 一里

本八十五文 同左
うら 百十文 ちんき

○左の方に城あり本
昔の落合の常葉の
居候の知あり今井が
水○夜坂○天沢村
古坂坂。古井村。上
善村。茶屋坂と云坂
茶屋坂あり。中津川
右の入り本昔本ののこ
れあり左の方あり山
とそとあまうと取の若
ちんきふら女けあま
ちんきふら女けあま
ちんきふら女けあま

○中津川
日大井 二里

本百五文 同左
うら 七十八文 白助
○宿より右の出をなれ
小なり。あまうの村。
こまを村坂の上りは
よりあまうと取の若
ちんきふら女けあま
ちんきふら女けあま
ちんきふら女けあま

の附母の故を以て
うらなるとかうつふ
○右の芳々山小敷
敷射と云々にむじ
むんぬのうと云ふ
一につけを死しむ
久らぶくちれれ
世して放室と云ふ
つて人多りに信人
あつてつてせんす
つてつてつてつて
西行

多とて又と云ふ
あひさる舎と云ふ
さうの中心
ひあ中よりと云ふ
さよ新田。元久保。
すくすくの社古
あり。夜あきの松
はうれてあり。あり
の目くび條八
八より条中
あつさか
日ヶけり、一里
本百廿文 同
く九上又 水
人七十一文

わが二里
○あり美
村巻田の八幡社
左おいてうの
方本あり田六丁
てあうとの相と
いふとあわう
死志うとあう
一反の田と
さ世ふう
みこつて
死たりと
中平に右の

○大森八
と樹村。花子川村
中。岩瀬村
○大井の
小林津
城。あふ
あふあふ
戸宿。三
お大井
日大久
本二百廿文 同
く九上又 水
人七十一文

○名古
大谷戸
大井川
る停止
うとせ川
瀬村。花
云山中
く。左
山とあり。
方にあり
あふと
僧の
お大久
日細久
本百廿文 同
く九上又 水
人七十一文

○宿わ
由なる
と津。や
あり右
云大
か
おあ
日
本二百廿文 同
く九上又 水
人七十一文

とうをうりあうらめい
畑に居て麻とんろが
雷ふうれ死すこも
○あふくうら山あり
らふく山あり。塩井
川。わりの川のす村
○天橋守。中橋左の
わりの川あり。その
川村。旗竹村。よく
らう丁

おうけり川
日袋井、二重丁

本百五十文同左
くふ百九文
人八十三文
わりの川あり。八十文
○右の旁に城あり。その
布めぬ物。町お下坂
と云。旗竹あり。あふく
○尾池村入口に橋あり

是より秋をいなる
約十里あり秋を
福宗。本考。教書
と云。と云。坊と云。大
天狗。火災。除る。異
強あり。て。赤。話。多
せん。く。か。り。村
○沢田村。細田村。左の
山のあり。と云。天。神。の
城。あり。い。く。小。笠。系
と云。八。前。う。城。と。云。り
と云。今。山。と。小。笠。系
も云。砂。川。村。右。の。方。坂。の
上。に。初。の。石。あり。あり。
砂。川。橋。長。十二。百。は
ら。川。茶。や。る。○。脊。川。右
小。渡。右。の。社。あり。あ。う。り
茶。や。る。ば。を。花。お。と
と。織。う。る。○。ぬ。き。な。ぬ。一
二。ね。く。つ。べ。の。内。あり。世。承

○右あり。山中。山。坂
谷。あり。た。の。方。谷
田。畑。あり。○。平。光。村。山
中。の。は。せ。せ。村。の。く。ど
上。坂。長。坂。と。云。谷。川
流。る。○。う。ら。坂。長。坂
の。和。泉。式。の。や。き
あり。松。井。尾。○。あ。う。る。本
け。る。に。む。り。園。の。若。翁
と。云。鬼。の。燈。る。鬼。穴
あり。奥。志。れ。る。大。穴
あり。○。う。ら。け。若。の。川
を。こ。お。丸。き。い。る。石。藏
檜。現。の。山。と。云。い。る。山
峰。と。云。い。る。麓。王。檜。現
と。云。い。る。山。谷。あり

おは蔵
日不

く。四。十二。文
○世。宿。可。見。の。敷。の。山
可。見。の。大。寺。あり。敷。か。こ
い。大。杖。大。竹。と。云。り
茶。師。如。來。傳。教。大。師。の



たふし野屋寄と目録
上人の父おきかのか
右の寄あり。このへ村
茶やあり。ありや

お袋井、一里半
日見附、一里半

本百八文 同左
八十五文
人 八十五文

中本百五文、百九文
町より通不橋あり。十
之宮のあり。大寺里
のあり。可願寺あり。寺
あり。後を二二寺曹
洞宗の懸縁。川井
村。本系村右の方に懸
我橋状のあり。お袋井
十。西橋町右の方へ
十町。通不橋村あり。ふ
村あり。氏下にこれに橋

の里に令のれと村を
あるれ。今に改めけ
て二羽あり。このれし
長。四十七名。石所へ
。このの飯二町。あり
。このの村茶やあり。
。このの。二本松うとん
を。さ。り。ある。上の。系
右。戦。場。一。云。飯。より。し
。勇。士。の。お。ま。れ。あり。し
。左。の。方。三。里。に。仍
て。橋。が。池。と。云。あり。若
。係。光。あり。と。云。せ。せ。あり。
。ら。大。地。と。云。り。此。池。あり
。と。云

お足付、四里七町
日見松、昔の重子

本三百五文 同左
二百五文
人 百七十五文

似大寺の懸縁あり。令
誠院と号す。此米
百石。天台宗あり。九
寺と云。深き。深海
流。市。米。年。十。八。石。可
見川あり。は。を。し。
平。岩。橋。あり。と。云。此
あり。と。云。り。衆。の。首
。橋。あり。む。し。雲。の。あり
。と。云。鬼。の。首。と。橋。あり
。て。橋。送。る。に。飯。首。次
。才。小。新。く。あり。と。云。教。百
。人。の。力。に。及。び。と。云。け。不
。小。橋。と。云。り。あり。と。云。け
。あり。と。云。と。云。と。中。初
。と。云。平。の。裏。あり
。七。本。橋。あり。伏。見。あり
。う。ら。田。二。里。と。云。り。古。城
。の。あり。欲。後。の。城。と。云。流
。民。の。も。獲。り。し。時。子。息

新六の懸縁あり。令
。と。云。里。修。長。時。代。森
。武。蔵。と。云。居。派。あり。と。云。
。田。一。里。と。云。り。肥。田。と
。昔。居。城。と。云。六。里。と。云。り
。の。里。

お伏見、二里
日右田、二里

本百五文 同左
八十五文
。省。あり。と。云。あり。と。云。
。と。云。り。橋。今。あり。村。
。右。田。村。と。云。田。川。大。橋
。橋。一。町。余。と。云。り。と。云。本
。昔。川。あり。と。云。り。川。上。に
。右。田。村。あり。川。下。に。橋。あり
。生。松。橋。あり。と。云。り。奥。の。渡。り
。流。と。云。り。と。云。り。と。云。り
。と。云。り。と。云。り。と。云。り

川ありと云り。川あり
川ありと云り。川あり

千六百八十八文

新よりわたり人びあそ

をとりて富士とんる

ゆきん付と云。比町の

内にて天より川橋二里

ちう紀乃わりのち乃

十五坂。町中に川橋

十二百之惣社神社あり

出づるか川橋十二百

坂あり。さう松葉やゆ

んぢうあり。左に八幡

美社あり。二百石。あそ

きあり。中流にさきあり

不之先より橋すさなり

大分院小坂葉あり

下方能村左ふけ塚

あり。文の一色。あそ

下八人えわり。あそ

葉あり。比田若舟

より二町ありてあり

わやける塔とわやが母

の名塔ありわやがうし

と云橋あり。天より

川流及すその水あり

流来る東の流と天

流あり。小天よりと云

舟よりと云。船あり

大あり。いそすのあそ

のあそより舟に舟。町

系に舟のまん中とて

中の町あり。わやん

わんま本坂のあり

末にあり。茶師あり

やう。あそあり。あそ

あそあり。あそあり

あそあり。あそあり

あそあり。あそあり

あそあり。あそあり

あそあり。あそあり

あそあり。あそあり

川八まの二町あり

もそあり

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

あそあり。二里

めきしきと十武石
漢松の八石

赤七浦松が 二里半
同才ひ坂、 十二丁

本百八十六文 同左
うら百廿三文 字たう
人 九十二文

り八本百廿五文と百廿五文
はわいひうひくま
そしとと。七石城あり
○城の目録ふ社大町
社ありひ浦松松浦
五石社あり社あり百石
社あり民社あり
社あり百石社あり松浦
文内社あり廿十町
わらわてふがかけ
今も台もちとわ
し。あう町十町
小けのいととを
耕多し。松村あり
林松あり。字家
すこの社あり。そら
○志のすの松やあり
志の系松田の志
松。坪井村。方の松
○る松村はる松
かすきとあり

赤七浦松が 海上二里
同 新居、 本八廿三丁

同左
九五浦

○船
切は百十七文トりの百
八十五文のり合はり付
人数はあり一社あり
おはり十文あり
とり八文あり尾松
紀伊の五虎あり

東中

日うれたうあせき
ふの石町つき六十町
うねすうらぎふの石
田里ぎふより加納
二里半。松阜の宿長
町。名古松の宿長
田安居の宿長あり刀
日れ。小刀あり
さうの松浦あり。は
あ古松の宿ありあ
ら所とら大河あり
白松文松つひの直
西は松つひ一人
松と九町あり十二町を
つうふ一松あり
ア松つひ一人松
七そら。松町と松
より善時松松と
出は古の方松松の
さう松あり。松

松はかう松二里左
の方小松松松あり
さう松の大河と松松
合戦のとき松松の人
松あり。松松あり
地あり。松松村

赤加納が 一里半
同 加納、 一里半

同左
清在集

赤加納が 海上二里
同 新居、 本八廿三丁
○船
切は百十七文トりの百
八十五文のり合はり付
人数はあり一社あり
おはり十文あり
とり八文あり尾松
紀伊の五虎あり

東中

りし白濁うほり坂地
麓をみみ味うりま
なご目のあたりに名
いもえんご家地あり
○あまをまき石の郷
の敷は戸小舟郷と
云りの小舟れ味良
あり

白濁 二里半
本百八丈 同屋
うら六十八丈 長坂
人五十五丈 孫去浦

下り本百八丈うら七十五丈
○はるのりし陸見坂の
下流辺ありか元祿
敷津津あり後比
あきつる。さうらを
あやむ。かきさのち
りぬのり。さうら川。

一里山峯あり。三河
へは小舟あり

三河 一里半
河 吉田、二丁

本百十丈 同屋
うら七十五丈 孫去浦
人五十五丈

下り本百八丈うら六十八丈
はるのりし陸見坂と
て二着ありしが一里
うせう。三河と云今も
出のりしと大黒と云
○小黒。大黒いりあか
の敷あり。火うち
坂あり。先小舟と云
る。二船あり。ソビ
建帯やむ。本小舟
さし。うらけ町

吉田 二里半
河 吉田、二丁

東中

元と云り。ちへりく
より何居り。ちへり
大垣。二里半。敷津津
右の方小舟あり。さ
ひる。曰く右の方
細長のさうらあり。村
のまをられたのさ
てその清水あり。ま
物村あり。系雲林
あり。うら六のさ
懸坂が物見の松あり
たうの富入口あり
れたるたうねあり
赤坂。右大垣。右の
上り。右坂あり。右
はるのりし陸見坂の
あり

白濁 一里半
本八十八丈 同屋
うら六十八丈 文五馬

右より何居り。ちへり
まのりしと云い高の敷あり
海。右福井。二里半。加
賀の合沢。六十二丁
尾。右。十六丁。系雲
廿四里半。右。三の里
右。右。右。右。右。右
女。花。子。う。ま。正。と。ん。女
う。ま。ち。ち。あ。り。上。の。正
う。り。右。尾。及。右。五。河
ら。は。と。あ。る。

白濁 一里
本六十二丈 同屋
うら四十二丈 貞を

右の方小舟あり。大
右の方に雲系合
の首領あり。大
村の側。小舟。不。成。の。愛
左の板。ひ。う。り。の。所

東中

お鬼橋 二里半
日あふ 土丁五里

本二百五十五文 同左
山本味清
石原清太郎
松山守太郎
人百卅三文 松山守太郎

下ノ本百廿五文 同左
〇左に城をばす
松平のこゝ二里〇町の
うら甲山寺に備文

〇西尾の城も二里町
の出口に松原川を橋
〇廿二日大橋

〇あの町と八町と云〇矢
新の橋も二里八町
中第一の大橋とむ

日本武の号本表とせ
いさとの時とせ
夫と他せもふとせ

〇東や北東やわたり
〇西や東十五里
りは堂に漢うり

〇せんのおおわりのたの
方に漢うりの父老
の申きは〇これと

〇うふおわりのたにか
あやうくたむ〇と
ま〇大漢堂やあり

〇ゆんおわりのたにか
今村茶やあり〇東
ち村入り〇橋

〇たかふる八町
橋の事とせ
おわりの〇の心橋

〇のたかふる今村

〇のたかふる今村

〇のたかふる今村

〇合戦に打ちけ
金〇時敵ふ前後
うこたれは和して四百里

〇人余自害せしあり
銘くは去世も
おのく穉世の秋も

〇あの方ひく子あり
又寺の白ひふ山不
骨うつめく

〇あはれを六ちう
云け塚山下に
下の志強人も

〇あはれを六ちう
云け塚山下に
下の志強人も

〇あはれを六ちう
云け塚山下に
下の志強人も

〇あはれを六ちう
云け塚山下に
下の志強人も

〇あはれを六ちう
云け塚山下に
下の志強人も

〇あはれを六ちう
云け塚山下に
下の志強人も

〇あはれを六ちう
云け塚山下に
下の志強人も

〇あはれを六ちう
云け塚山下に
下の志強人も

〇あはれを六ちう
云け塚山下に
下の志強人も

〇あはれを六ちう
云け塚山下に
下の志強人も

〇あはれを六ちう
云け塚山下に
下の志強人も

成慶の池ふりつて
 る寺にたり平の他
 の教者系はしるの
 記又古のしるしの
 松ありき目十たふ
 ちさうせうあり平の
 石障もあり。本田村
 ありふのせり月北日
 ありふり六月香をと
 するあり

お池程 二里半
 同 ありき 十二丁

本百廿五文 同左
 大村六高
 伊集本七
 人九十二文

たり平百廿五文より百廿五
 ありふりしるの城と
 あり。石障のあり。す
 すと明神社ありふ
 ありの池ふりつて

ありつて川七橋あり
 八町ありて左ふりか
 けの明神社あり。一里
 あり。今尾村茶や
 あり。いり川と云ふあり



ありきふりしるの
 あり。其下余。小野村
 の相たると云ふ。香
 のありきふりしるの
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり

お 二里
 同 ありき

本九十二文 同左
 檀在

あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり

あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり

お 二里半
 同 ありき

本百廿五文 同左
 文在

あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり
 あり。あり。あり。あり

表すも百文とす一か貳百文とす一か貳百文とす

は日比の本番川のそとにみだれはのりうぐく
く志保をばんやせしこれを見まはしき六
家やじいやいさのりてし

□佐倉田の通

一丈一 二重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

一丈一 一重百文一 一丈一 一重 八十二文

糸巻も束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が

いゝと糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が

ひのきかたなりと糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が

この所は神代村の所なり。此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が

この所は神代村の所なり。此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が

この所は神代村の所なり。此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が

この所は神代村の所なり。此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が
あつて糸巻の束ごとく流れるも此の所の風が

建下小塚丸の事あれを時分ははあ
 ようにありてはあつたてはつた大酒を降
 剛は物候は塚丸の教家親王の執事こと
 ありのあまき道は山城の境に。実の清水
 とをどを井の水は。人、公にねれとを
 さたわくは園をを前ふたを。大官所
 町小針中じを人小を井を。山科の
 茶師院を。とを。火打を。有場
 有。長町。近。け。た。を。六
 ぢ。う。う。う。伏。人。ひ。た。を。死。く。横
 本。た。よ。小。黒。城。の。た。を。六。ち。う。う。考。先。か
 山科。と。云。十。様。村。十。様。師。お。先。の。執。事
 聖。法。寺。の。他。田。の。六。川。小。川。の。田。の。寺。村
 山科。小。二。三。田。の。美。い。水。の。美。才。田。の。由。名
 和。の。名。と。い。と。云。た。小。り。り。羽。大。町。村。の。頼。八
 光。院。の。才。子。小。川。家。を。考。へ。て。は。社。の。田。の。美。と
 云。は。社。の。内。の。あ。ま。の。社。と。云。る。若。竹。親。朝
 氏。と。云。一。人。既。聖。を。好。む。三。寺。の。名。あ。あ。後。一
 仍。く。塚。丸。の。事。と。わ。れ。あ。う。う。と。ま。ま。せ。せ。と
 れ。る。と。い。ふ。は。社。の。情。願。の。御。あ。う。ん。の。た。の
 於。思。海。の。寺。の。内。の。入。は。は。六。百。七。十。石。是。か
 八。町。様。の。事。場。の。を。つ。と。考。へ。な。つ。この。後。城
 う。る。左。は。日。蓮。宗。の。学。寮。あ。う。う。考。へ。な。つ。

安。祥。寺。の。教。の。下。た。を。考。へ。な。つ。左。小。ま。が。な。
 城。た。あり。む。一。系。へ。入。つ。た。は。う。う。又。考。へ。な。
 橋。の。少。一。里。余。あり。は。た。小。松。谷。と。云。る。考。
 平。を。登。の。程。也。河。原。村。河。上。落。の。時
 八。系。の。町。人。は。亦。か。難。れ。也。上。の。山。天。智。寺。
 の。河。原。あり。右。の。方。は。た。わ。う。う。口。う。ん。の。
 事。と。う。う。考。へ。な。つ。左。小。折。罪。場。を。日。の
 思。株。茶。や。あり。考。へ。な。つ。里。余。の。坂。也。一。太
 の。方。家。の。堀。は。子。本。松。と。考。へ。な。つ。考。へ。な。つ。
 有。是。か。さ。は。下。り。坂。少。け。け。け。考。へ。な。つ。
 わ。う。う。の。内。に。け。け。け。の。水。入。は。う。う。一。程。奥
 及び。り。あ。時。実。系。系。市。が。良。お。う。う。の。
 け。あ。と。け。け。け。考。へ。な。つ。た。う。う。ひ。ひ。か。あ。
 〇。栗。田。は。昔。あ。う。う。は。園。白。道。道。公。任。た。う。う。
 由。名。考。へ。な。つ。左。り。山。科。の。美。い。考。へ。な。つ。
 の。こ。の。の。れ。う。う。〇。あ。し。玉。の。命。〇。こ。の。か。ん。乃
 命。〇。う。ひ。め。の。命。〇。玉。登。の。命。ひ。の。神。を。勅。後

中乃ろくく。是乃其不物がくけしを備る
 ○たよころや揚枝とそ名物何う河内をた
 ちおしと云雨の柳をけつと云。たより
 あらうと云。見ゆる見人とやくはうあし。
 日方家の後不拍軍城あり是は桓武天皇の
 今の終と云。あめり耐人形とつう。後甲と
 云せし介めこのあうのそ重あふ天中と云
 只のゆいふあひと云。すうと云。左のたお天皇乃
 社をばた上多と云。右の芳町左のうた
 ひん院のむら。右の芳のた。右田南律と云
 坊。左のあま進所止。右のた。右百。午六石
 内小傳教大沙化之申の社。新元。天降の堂
 有。白川橋南。ゆい。た。知恵のん。ぎとん
 清のあま。あま。あり。町家のうら。に。島の中
 小橋の文。社。を。知。恵。院。は。法。徳。上。大。近。化。
 あり。奇。人。今。あ。ま。光。天。降。と。ゆ。く。深。古。家。伝。を。此
 故。ち。と。も。内。小。橋。南。多。り。ま。ま。の。が。系。今。山
 門のわ。り。ん。と。云。と。せ。と。や。町。の。二。条。の。は。し
 加。藤。川。の。流。之。東。に。法。橋。と。云。中。和。為。丹。奉
 あり。内。西。橋。南。と。云。白。秀。次。の。石。橋。の。橋。が
 二条河内城とす。下橋も右。豊。神。河。水。下。が
 後。左。五。条。六。条。の。橋。と。云。清。水。と。云。井。大。仏
 今。の。由。世。東。橋。と。云。り。ゆ。と。も。の。大。橋。と。小
 橋。の。目。録。人。の。や。と。在。る。は。は。西。河。内。川。を。二。条
 あり。と。云。又。六。条。橋。の。あ。り。も。と。在。り。と。せ。い
 秋。と。寺。町。の。前。と

諸國所く行程附

加 金沢道中

| | | | |
|--------|----|---|----|
| 依別退己けま | 尾張 | 一 | かこ |
| 本番中より | 美濃 | 一 | かこ |
| 退分 | 越前 | 一 | かこ |
| 小のり | 富山 | 一 | かこ |
| 田中 | 石川 | 一 | かこ |
| 田中 | 福井 | 一 | かこ |
| 上田 | 山梨 | 一 | かこ |
| さる | 長野 | 一 | かこ |
| さる | 群馬 | 一 | かこ |
| はる | 栃木 | 一 | かこ |
| 二 | 茨城 | 一 | かこ |

金沢の市 一り 本百廿五文

の市 一り 本百廿五文

まろ 一り 本百廿五文

く 一り 本百廿五文

栗生 一り 本百廿五文

ち井 一り 本百廿五文

小松 一り 本百廿五文

今井 一り 本百廿五文

今井 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

月 一り 本百廿五文

若田 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

あ 一り 本百廿五文

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

大坂の
山田一り

東中

五十六

西入に小橋あり橋中の
うらみあり南東の東あり
往來のうらみはくたあり

板つら
川巻、 二り

比呂一り市街て山手
小宮町や一丁板つら川
巻の入口は川あり

川巻、 二り
やうけ、 二り

比呂志は知く織とあり
まふ、 二り

七日市、 二り
比呂志原門二つあり
うらみあり二り板あり

板町や二り板つら今
市町七日市に川あり

七日市、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

たふ、 二り
たふ、 二り
たふ、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

比呂志、 二り
赤ま、 二り

ひらき 二り 是より
舟にのりていなり
のり合田十文

廣崎 一り 是より
くさくさ 一り 是より
田代 水田 二のり 是より
舟にのりていなり 廣崎 舟にのりていなり
廣田 舟にのりていなり

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

北田市 二り
北田市 二り
北田市 二り

東田 二り
田代 舟にのりていなり
舟にのりていなり

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小川 二り
小川 二り
小川 二り

小つらふ 二り世丁

小つらふ田代まて

○船もあきあき八町

林をりてな三むりあ

船も田代まてまき

○又小つらふあきあ

福島乃あきああ

はあきあ下の原も橋

船もあきああ

○ひわあ味あきあ

小つらふ 二り世丁

まきあ 二り世丁

まきあ 二り世丁

まきあ 二り世丁

まきあ 二り世丁

まきあ 二り世丁

まきあ 二り世丁

まきあ 二り世丁

まきあ 二り世丁

まきあ 二り世丁

又石原も上丁二町

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

又六十日おきあきあ

香春、一り

香春の、ニり

いひさ、ニり

いひさ、ニり

大くま、一り

大くま、一り

世介、一り

世介、一り

八丁、一り

八丁、一り

秋月、ニり

秋月、ニり

松橋、一り

松橋、一り

松橋、一り

田代、一り

田代、一り

松橋、一り

松橋、一り

松橋、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

小原、一り

柳川が長橋乃

柳川が長橋乃 二十丁

いさぎよ 四丁

やうき 一丁

日見 二丁

いさぎよ 一丁

田代が 一丁

田代入口よりくひ水
味毎ともかき

いさぎよの入口は
水場をたまたま
先かちこのころ
二丁 長方城

この橋入りは橋あり
長十六石程あり
中しとあきくさ
三十三石あり

この橋が 北二丁

本北六文 人十文

一物橋が 十六丁

本北八文 人十文

大月が 十二丁

本北八文 人十文

大月町をくれば
かきしとあきくさ
ふくま橋のうら
たり

甲府より 田代山乃

大月が 二丁

いさぎよの橋は田代
○はさく人内橋あり
他白く内いさぎよは
大月花橋を又橋を
や村が

や村が 一丁

おのま 一丁

おのま 一丁

下花橋が 一丁

本北七文 人十文

白井が 一丁

本北七文 人十文

いさぎよの橋は
と中い

いさぎよ 一丁

いさぎよの橋は 一丁

いさぎよの橋は 一丁

いさぎよの橋は 一丁

いさぎよの橋は 一丁

いさぎよの橋は 一丁

いさぎよの橋は 一丁

いさぎよの橋は 一丁

いさぎよの橋は 一丁

いさぎよの橋は 一丁

小田の 二り十丁

白井の 一り

旗原の 二り一丁

本軍七又 人廿六又

陸田の 二り九丁

本軍七又 一り十

比呂川二所より

本軍七又 人七又

うれのの 二り六丁

本軍七又 一り三丁

比呂川よりやどり

本軍七又 人廿二又

飛入よりお出で

甲府の番所あり

一りの坂あり

本軍七又 一り十

披木の 三り

石和の 一り十

松原の 三り

石和の 一り五丁

比呂川より坂あり

甲府の 一り五丁

大村の口さくら

石和の 六り

大村の 二り

下松の 六り

比呂川下り坂あり

羽本井の 六り十

中比小坂大分あり

このふより東海

下比小坂あり

舟の上十二り

大坂より上りて

あるときあり一時半

大坂より上りて

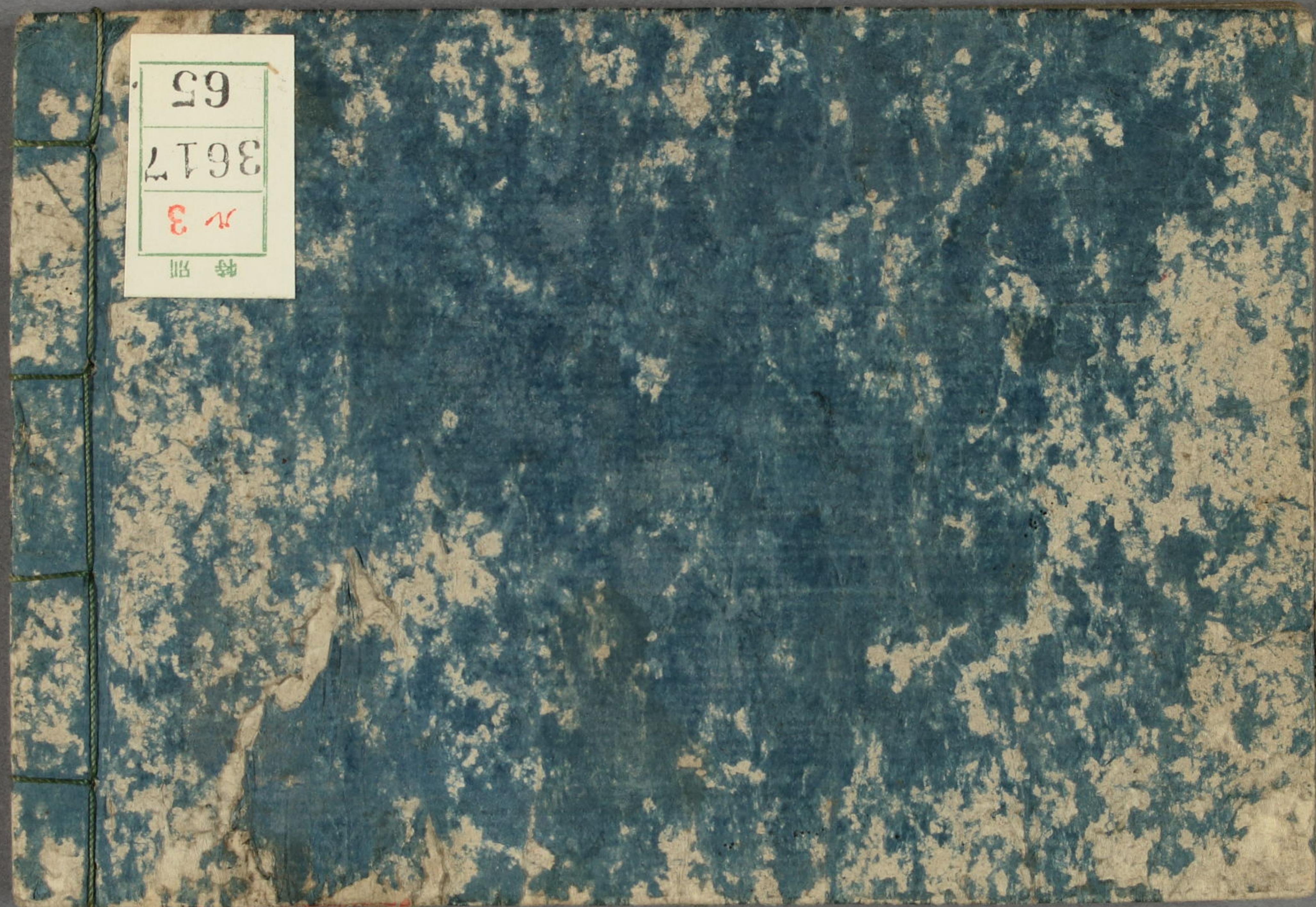
わらわいあり川力

大坂より上りて

甲府の尾州

大坂より上りて

乙へうい



65

3617

3

特別